

「発達障がい」とともに生きる 豊かな地域生活応援助成

①（単年度助成用） 申込用紙

団体について（今後設立予定の場合も含む）

（ふりがな）	えぬびーおーほうじん あさひみんながしゅやく		
団体名	NPO法人 朝日みんなが主役		
所在地	〒123-4567 東京都〇〇区●●町1-2-3		
ホームページや 団体SNSアカウント	www.-----		
代表者	（ふりがな）	あさひ はなこ	役職、属性、職業等
	氏名	朝日 花子	会長
	電話番号	03-1234-5678	
	メールアドレス	abcde@-----	

申込者について

（ふりがな）	あさひ はなこ		
氏名	朝日 花子		
団体との関係・役職	朝日みんなが主役会長		
住所	〒123-4567 東京都〇〇区〇〇町1-2-3		
電話番号	03-1234-5678		
メールアドレス	abcde@-----		

団体の活動について

団体の主な日ごろの活動	団体の略歴（設立年月日、活動を始める予定日等）		
肢体不自由や知的障害、学習障害を含む発達障害や日本語を母国語としない子どもたちなど、さまざまな個性やルーツのある子ども同士が、同じ地域の同じ学校と一緒に学んでいくために必要な情報を発信したり、交流会を行う活動を実施。	2012年12月 △△市××地区の地元有志数人で設立。 2015年4月 NPO法人格を取得。 2018年4月～翌3月 〇〇財団より助成金を得て さまざまな個性のある人同士がかかわる楽しさを描いた漫画「いっしょに遊ぶって、大発見！」を発行。		
職員数	有給	3名	（活動頻度）月・週 20日
	無給	名	（活動頻度）月・週 日
連携している団体、個人	NPO法人「凸凹の輝く教育」職員====氏 △△区役所・障害福祉課 〇〇さん		
住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 ●●県〇〇市==町1-2-3		電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
連携内容	△△区主催イベント「●●●●」にてダイバーシティ教育を考えるワークショップ「◎◎」を共同開催		

記入いただいた情報は、当事業団の規定に従って適切に管理します。また、当事業団のイベントのご案内に利用させていただく場合があります。

	助成団体名	助成年月	助成金額	助成内容
これまでに受けた、 または定期的に受けている 代表的な助成等（※）	〇〇財団	2020年4月～2021年3月	¥1,000,000	漫画「いっしょに遊ぶって、大発見！」作成費

※「これまでに受けた、または定期的に受けている代表的な助成等」には、①現在受けている助成、②総額の大きいもの、③助成時期の新しいもの（申請中のもの）の優先順で記入。

助成金について

区分 (該当するものに○をつけてください)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 団体の活動のスケールアップのための活動費 2. 新しい活動を検討するための調査費・研究費 3. 器具や器材の開発・購入費 4. 市民の啓発活動、講演費の補助、実験的活動 5. 自団体や同業職員のスキルアップのための研修費 6. その他 () 						
事業名(35字以内)	交流会、座談会「となりのひとはどんなひと？」あそんで話して知り合おう！						
実施期日・実施期間	開始 / 2024年 4月 1日			終了 / 2025年 03月 31日			
申請理由 (350字以内)	<p>個性のある子どもたちが地域に届け、町の子と広く認識してもらうために障害の有無にかかわらずさまざまな子ども集える交流会を計画。専門家の手を借りるため、その謝礼と会場費、チラシ印刷費などが必要です。</p> <p>「標準的」でない子どもは、保護者や本人の意思に反して地域の学校に通えないケースがあったり、学校が受け入れを実施しても「標準的な子ども」の保護者から厳しい声をかけられたりすること。</p> <p>日ごろから地域に溶け込み、同年代の友人と一緒に過ごすことが当たり前の空気があれば、行政の判断に基づく就学期の分断問題も起きづらくなるのではないか。そのように考え、地域住民同士の横のつながりを強固にするための活動を目指します。</p>						
事業内容 (500字以内)	<ul style="list-style-type: none"> ●実施頻度：年8回（4回：子どもだけでも参加可能、親のみ可／4回：子連れ可だが、親同士の交流がメイン） ●全回、地域子ども家庭課および障害福祉課の担当者によるプチ相談会を実施。 ●相談会実施中は保育士や看護師、作業療法士を配置。 ●保育士や看護師、作業療法士による「あそびのヒント」フィードバック。日ごろ関りが薄く、遊び方がわからない医療的ケア児と遊ぶヒントなど、持ちネタを紹介してもらう ●参加者には会の様子をSNSで発信してもらい、口コミで参加者が増えるように工夫。 						
実施スケジュール (500字以内)	<ul style="list-style-type: none"> ●2024年4月～：広報（チラシのポスト投函、地区掲示板への掲示、学校を通じてのチラシ配布） 5月、6月・…………… 7月、8月・…………… 9月…………… 10月…………… …………… …………… 						
必要な費用の内訳 (今回の申請に関する経費のみを記入)	費目	説明	詳細	自主財源	助成申請額	合計（自主財源+助成申請額）	
	固定費 (申請額の20%まで)	家賃					¥0
		光熱費					¥0
		人件費（常勤）					¥0
		その他の固定費					¥0
	人件費（非常勤）	事業の実施に必要なアルバイト等の経費				¥0	
	諸謝金	講師や専門家に対する謝金	保育士、看護師、作業療法士に1回1万円、全8回		¥240,000	¥240,000	
	旅費交通費	事業を実施するために必要な出張旅費や交通費など				¥0	
	広告宣伝費	事業を新聞・雑誌・WEB等で広告するための費用				¥0	
	会議費	会場の借用料・設営費用、会議の飲食費など	会場使用料1回3千円×8回、おやつ代（1千円×8回）		¥32,000	¥32,000	
	委託費	事業の一部を外部に委託する費用	チラシデザイン料		¥30,000	¥30,000	
	消耗品費	事業に必要な機材や備品等の購入費				¥0	
	印刷製本費	パンフレット等のコピー・印刷代など	チラシデザイン料印刷費（1枚5円×100部×8回）		¥4,000	¥4,000	
	通信運搬費	郵送料、宅配便代など				¥0	
	保険料	各種保険代	参加者保険料（1人100円×各回20人×8回）		¥16,000	¥16,000	
雑費				¥10,000	¥10,000		
合計				¥0	¥332,000	¥332,000	
自主財源+助成申請額 (事業にかかる総額)	自主財源	¥0	助成申請額	¥332,000	総額	¥332,000	
事業の実施により起こる団体や地域での変化	<p>お子さんの特性がどのようなものであっても、ここに来れば誰かいる、楽しく遊べる、と認識してもらえる場所になります。</p> <p>寝たきりの子ども、言葉を発しない子ども、外国にルーツのある子どもも雑多にいて、それが当たり前になり、就学以降もその風景が自然になるような風土を地域に根付いていくものと考えます。</p>						
助成内定時の交流会等でやってみたいことや知りたい情報	他団体との情報交換をしたいです。共感者の増やし方、ボランティアの増やし方の秘訣を知りたいです。						

- 「費用内訳」は、今回の申請事業に関する経費のみを記入して下さい。
- グループ・団体の広報誌やパンフレット、会則または定款のいずれかを必ず添付し、2022年度決算報告書を添付して下さい。
- 器具・器材の購入や印刷等を業者に発注する場合は、見積書と購入物のパンフレットを添付して下さい。
- 見積書は実際に購入・依頼する業者に実質価格（割引後の金額）で作成してもらって下さい。